



シラバス参照

タイトル「2014年度 観光学部シラバス」、フォルダ「2014年度 観光学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	日本観光事情																																		
担当教員	廣岡 裕一																																		
対象学年	1年	クラス	T1																																
講義室		開講学期	後期																																
曜日・時限	火 1	単位区分	選択																																
授業形態	講義	単位数	2																																
準備事項																																			
備考																																			
授業の概要	この講義では、日本の観光地について論じる。ここでの観光地とは、自然景観、文化財、集客施設、郷土芸能、祭等により観光客が訪れる地をいう。観光にかかわる研究に従事する者、観光にかかわる産業に従事する者にとっては、まず、観光地を知ることが必要である。これからさまざまな形で観光を学ぶ場合、俎上に挙げられた場所がイメージできなければ学習に支障が生じるので、実際の観光地の写真や映像等を多用し、受講者が観光地を実感できるように心がける。しかしながら、大学の講義であるので、それぞれの概要を述べるだけの知識の詰め込みにならないよう、当該観光地の発展経過、観光地たる背景、現状、利害関係者の状況、問題と課題等についても言及し、受講者に問題意識を生じさせることができる講義としたい。																																		
授業計画	<p>状況に応じて、観光施設等を視察するプランを提示することもある。 また、可能であれば、ゲスト講師として観光の実践に携わっている方から話をうかがう。 このような場合や進行の具合で、講義内容がずれることもあるが、日本全国すべての地域の観光地は網羅し、観光学部姓として最低限の観光地に関する事項は把握することができる講義にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>はじめに、観光地とはなにか</td></tr> <tr><td>2</td><td>北海道の観光事情</td></tr> <tr><td>3</td><td>東北地方の観光事情</td></tr> <tr><td>4</td><td>関東地方の観光事情</td></tr> <tr><td>5</td><td>甲信越地方の観光事情</td></tr> <tr><td>6</td><td>東海地方の観光事情</td></tr> <tr><td>7</td><td>北陸地方の観光事情</td></tr> <tr><td>8</td><td>近畿地方の観光事情</td></tr> <tr><td>9</td><td>京都の観光事情</td></tr> <tr><td>10</td><td>ユニバーサルスタジオジャパン</td></tr> <tr><td>11</td><td>中国地方の観光事情</td></tr> <tr><td>12</td><td>四国地方の観光事情</td></tr> <tr><td>13</td><td>九州地方の観光事情</td></tr> <tr><td>14</td><td>沖縄の観光事情</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	はじめに、観光地とはなにか	2	北海道の観光事情	3	東北地方の観光事情	4	関東地方の観光事情	5	甲信越地方の観光事情	6	東海地方の観光事情	7	北陸地方の観光事情	8	近畿地方の観光事情	9	京都の観光事情	10	ユニバーサルスタジオジャパン	11	中国地方の観光事情	12	四国地方の観光事情	13	九州地方の観光事情	14	沖縄の観光事情	15	まとめ
回	内容																																		
1	はじめに、観光地とはなにか																																		
2	北海道の観光事情																																		
3	東北地方の観光事情																																		
4	関東地方の観光事情																																		
5	甲信越地方の観光事情																																		
6	東海地方の観光事情																																		
7	北陸地方の観光事情																																		
8	近畿地方の観光事情																																		
9	京都の観光事情																																		
10	ユニバーサルスタジオジャパン																																		
11	中国地方の観光事情																																		
12	四国地方の観光事情																																		
13	九州地方の観光事情																																		
14	沖縄の観光事情																																		
15	まとめ																																		
到達目標	日本の観光地を最低限知る。																																		
成績評価	試験で評価する。小テストを加味することがある。																																		

教科書	使用しない
参考書	帝国書院編集部編『旅に出たくなる地図 日本』帝国書院、2006年、2520円（税込） 三省堂編修所『コンサイス日本地名事典』三省堂、第4版1998年、5250円（税込）
履修上の注意・メッセージ	日本には膨大な数の観光地があり、それを対象とする講義である。観光を学ぶためにはこれらを知る必要はあるが、すべては無理である。しかし、最低限の観光地は知っておかないと他の観光分野の学習にも支障が生じる。知ることが覚えることと異なるので、決して暗記しようとしないうこと。いつも、座右に地図を置いて不明なところが出てきたら地図で確認する癖をつけること。そうすれば、結果的に知った形で覚えていることとなります。
予習・復習の内容についての指示	予習 講義の対象となる地方の観光地をリストアップし、概要を把握しておく 復習 講義で触れられた観光地、その他地名の位置を、地図で確認し、あわせて、その相互間の時間的距離を探索する

